



当社は文部科学省が推進する
「土曜学習応援団」に賛同しています。

土曜学習応援団

高校用

明治安田生命

金融・保険教育の 出前授業を承ります

オリジナル教材をもとに、金融リテラシーが身につく授業を行います！

2022年度より施行された学習指導要領（高校家庭科）では、「物や金銭の大切さと計画的な使い方」「売買契約」といった金融に関わる学習事項が追加されました。また、OECDの学習到達度調査でも、生活スキルの1つとして金融リテラシーが挙げられており、金融教育への社会的な期待が高まっています。

そこで、明治安田生命は、家庭科や社会科、特別活動等の授業で活用できる金融・保険教育の教材を新たに開発し、この教材を活用した当社職員による出前授業を承ります。お金や、リスクに備える保険といった金融に関するテーマを通して日常生活を捉え直し、生徒たちが多角的な価値観をもってかしく行動するためのきっかけづくりにご利用ください。

- ✓ 基礎的な金融リテラシーに加えて、リスクと保険の仕組みについて学べる内容です
- ✓ 授業で使うテキストは、必要数を当社がご用意いたします
- ✓ 費用はかかりません（無料）

お申し込みから授業実施まで

お申し込みはこちらから



二次元コードを読み込んでもメールソフトが起動しない場合は、
下記のアドレスを直接入力してお申し込みください

finance-edu2@meijiyasuda.co.jp

明治安田生命保険相互会社
ブランド戦略部 地域共創企画室



- ① 上記窓口にメールでお申し込みください。
- ② 担当者から折り返しご連絡し、ご希望の日時やテーマなどを打ち合わせさせていただきます。
- ③ 日時やテーマ等を決定した後、担当者が学校を訪問して出前授業を実施いたします。

教材で扱うテーマや特長は裏面をご覧ください▶▶▶

基礎的な金融リテラシーが身につく7つのテーマ

本教材は家庭科や社会科、特別活動等の学習指導要領に対応した「契約」「お金の使い方」「計画的な金銭管理」「消費者トラブル」「リスクと保険」「持続可能な暮らし」「金融商品」の7つのテーマで構成しております。

各教科の学習指導要領との関連

テーマ	目標	学習指導要領との関連	
		家庭科	社会科
1. 契約	売買契約の意味や成立の条件、クーリング・オフ制度など消費者を守る法律や制度が分かる。	C 持続可能な消費生活・環境 (2) 消費行動と意思決定 ア(イ) 契約の重要性、消費者保護の仕組み	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ア) 多様な契約及び消費者の権利と責任
2. お金の使い方	貨幣の機能や3つの経済主体、キャッシュレス決済の特徴が分かる。	C 持続可能な消費生活・環境 (2) 消費行動と意思決定 ア(ア) 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定、責任ある消費、生活情報の収集・整理	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ア) 多様な契約及び消費者の権利と責任 C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち
3. 計画的な金銭管理	人生の中ではライフイベント等での大きな出費があることを理解し、適切な金銭管理の方法や貯蓄等の備え方を考えることができる。	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 ア(ア) 家計の構造、経済と社会との関わり。 (イ) 生涯を見通した生活における経済の管理や計画	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ア) 多様な契約及び消費者の権利と責任
4. 消費者トラブル	主な金銭トラブルの種類とその対策、消費者の権利と責任を理解し、適切な消費行動を考えることができる。	C 持続可能な消費生活・環境 (2) 消費行動と意思決定 ア(イ) 消費者の権利と責任、消費者問題、消費者の自立と支援	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ア) 多様な契約及び消費者の権利と責任
5. リスクと保険	リスクに備える方法として貯蓄のほかに保険があることや、3つの保険分野と身近な保険商品の内容が分かる。	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 ア(ア) 家計の構造、経済と社会との関わり。 (イ) 生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方、情報の収集・整理 イ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画、ライフステージごとの課題や社会保障制度	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ア) 多様な契約及び消費者の権利と責任
6. 持続可能な暮らし	人生で実現したい夢をもとにライフデザインを描き、ライフステージごとの暮らし方や働き方を考えることができる。	C 持続可能な消費生活・環境 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 ア 持続可能な社会へ参画することの意義 イ 持続可能な社会を目指した主体的な行動	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち
7. 金融商品	資産運用におけるリスクとリターンの関係や身近な金融商品の特徴が分かる。	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 ア(ア) 家計の構造、経済と社会との関わり	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ウ) 金融の働き

教材の特長

授業で生徒に配付し使用するテキストは、身近な事例をもとに知識を深めていけるように設計しています。授業の後は家庭に持ち帰り、家庭での自主学習に繋げることができます。

